

(C-62) 短期大学生の身体計測に関する一考察(予報)

池坊短大 有本 翠 久世紀志子 〇結城脩子 石橋千賀子

目的 被服構成学指導の立場から、学生の身体に適合する衣服寸法の基準を求めよう。衣服寸法に關係のある部位ノ項目を計測し、その成績より

①身長・胸圍・体高と夫々各部位との相関を俵

②脇下丈と、肩傾斜角・S.P.→後W.L. S.P.→前W.L.間との相関

③A.H.と胸圍・上腕最大圍・頸付根圍との相関等について考察した。

方法 計測方法は、脇下丈は、脇付根に竹製物差しを当て、W.L.まで計測し、S.P.→後W.L. S.P.→前W.L.は夫々S.P.に印をつけ乳頭位及び肩甲骨突起などのふくらみが含まれるように考えて計測し、その他の部位は日本人体格調査委員会が定めた計測方法によつた。

結果

①各部位間の相関について対身長では長着項目、対胸圍では周着項目、対体高では周着項目の方が夫々他項目より概して高い相関を見られた。

②脇下丈と肩傾斜角度の間では高い相関は見られなかつたが、脇下丈とS.P.→W.L.間では前後背高い相関が見られた。

③A.H.と胸圍、上腕最大圍、頸付根圍との間には夫々高い相関があつた。